

令和5年4月19日 発行

岡村中学校だより

学校長 高橋 浩二

4月7日、249名の新入生を迎え岡村中学校は全校生徒734名、教職員55名で令和5年度が順調にスタートしました。保護者の皆様方、地域の方々のご支援ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。さて、入学式の式辞では「例年より早く開花を迎えた学校の桜の中で、特に多くの生徒が利用する、東門の桜が葉桜となりながらも皆さんの入学をまだかまだかと心待ちにしていました。」と出だしの原稿を変更しました。もう「満開の桜」という言葉は3月後半に適する言葉になってしまったのかな？と感慨深いものがありました。

あらためまして、岡村中学校に着任し5年目となります、校長の高橋浩二です。どうぞよろしくお願いいたします。この三年間は、誰もが体験したことのない日々の連続となりましたが、教職員や保護者、地域の皆さま方に支えられ、何よりも生徒たちに助けられながら乗り切ることができました。岡村中学校長として、信頼できる教職員と共にこれからも一步一步着実に歩いて行きたいと思っております。今年度も、引き続き横浜市衛生管理マニュアルに基づいて感染症対策を行いながら、「学校の教育活動を着実に進めていく」方策を考えて取り組んで参ります。今後も、保護者の皆様方のご理解ご協力、そして地域の方々のご支援を心よりお願いいたします。

最近嬉しく思ったことを二つ書きます。4月14日の朝のこと、いつものようにバス停でバスを待っていると、ツバメが飛び交う姿に気が付きました。今年も同じ場所に帰ってきた、ツバメによる巣作りと子育てが始まる季節になったと感ずることができました。また、同じ日に、もう一つバス停での出来事がありました。毎朝、2歳くらいの子をおんぶして、5歳くらいの子の手を引いて保育園にバスで向かうだろう親子三人に出会います。いつもの見慣れた光景ですが、今日初めて5歳くらいの子から「おはようございます」と挨拶を受けました。お母さん曰く「この子がいつも会う、お爺さんにあいさつがしたい」ということでした。私（お爺さん）は、嬉しくなって「おはようございます」の挨拶を返しました。やはり、挨拶はいいなと「あいさつ運動」を長年行っている、岡村中の校長は感じました。

話はもどりますが、中学校生活は入学から卒業まで長い人生から見たら短く感じる3年間ですが、この期間は、より多くの事を学びながら感動を味わったり大切な友人を作ったりして、大きな成長が見られる大切な時期だと考えています。生徒一人ひとりにとって素晴らしい一年間となることを願わずにはられません。そのためにも全教職員で「厳しく、あたたかく、ていねいに」生徒に接して行く決意です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。